



営農タイムリー！



2022年4月4日発行

サツマイモ 基腐病の発生を防ぐために

3つのポイント

1. 基腐病菌を持ち込まない

- ・健全な苗の確保
- ・苗の適切な消毒
- ・ほ場で使った用具等の消毒

2. 基腐病菌を増やさない

- ・ほ場の排水対策
- ・発病株の早期発見
- ・発病株の抜き取り、持ち出し
- ・初期防除の徹底

3. 基腐病菌を残さない

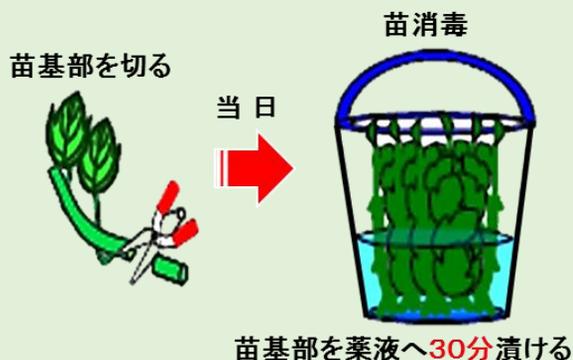
- ・残さの持ち出し
- ・耕うんによる残さの分解促進
- ・適切な土壌消毒
- ・たい肥等の有機物施用

発生させないための対策

◆ 苗の消毒の徹底

※ 当日調整した薬液を使用し、薬液は複数日にわたって使用せず使用日ごとに更新する。

適切な苗消毒（ベンレート水和剤）方法



RAC コード	薬 剤 名	希釈倍数	使用方法	使用回数
F: 1(B1)	ベンレート 水和剤	500~1000倍	植付前 / 30分間苗基部浸漬	1回
F: M03(M) F: 1(B1)	ベンレートT 水和剤20	200倍	植付前 / 30分間さし苗基部浸漬	1回

サツマイモ 基腐病 の発生を防ぐために

◆ 排水対策を十分に行う

※ 降雨で溜まった水等により病害の感染拡大が助長されるため、ほ場の排水性を向上させる。

◆ ほ場で使った道具の洗浄

◆ 発病が疑われる株を発見したら、速やかに畑の外に持ち出し、適切に処分する。

◆ 発病が疑われる株の周辺部への感染防止のため、薬剤防除の徹底

基腐病 登録農薬（散布剤）

RAC コード	薬 剤 名	希釈倍数	散布水量 /10a	使用方法	使用時期	使用回数
F: M01(M)		500倍	100~300L	発病株抜き取り後、 周辺株への予防散布	—	—
F: NC(NC) F: M01(M)		1000倍	200~300L		収穫前日まで	—
F: 11(C3)		2000倍	100~300L	予防・治療	収穫14日前まで	3回以内

※ 苗消毒の効果が切れる頃(定植5週目)までは、**銅剤**(Zボルドー・ジーファイン)での予防に努め、苗消毒の効果が切れる頃に、**アミスター20フロアブル**を散布する。その後、基本的には**銅剤**での防除を続ける。

豪雨や台風など、急激なまん延の原因となりそうなときは、**アミスター20フロアブル**を散布する。

地際の茎に薬剤が十分かかるように散布することで、効果が安定する。